

## 平成31年(2019年)4月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2019年4月 数量 (トン)	2019年4月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	千葉(銚子)県産中心の入荷でした。天候不順の中、入荷は順調でした。平均単価は高く推移しました。	444	106	109%	119%
2		キャベツ	神奈川(三浦)県産、千葉(銚子)県産中心の入荷でした。平年より前進出荷の影響により、入荷はやや増加しました。平均単価は前年並みでした。	1,022	96	105%	99%
3		トマト	熊本県産・愛知県産中心の入荷でした。順調な入荷により、大幅に増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	511	343	163%	106%
4		レタス	茨城県産中心の入荷でした。収穫期の降雨の影響により、入荷は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	269	202	81%	125%
5		馬鈴薯	鹿児島県産が終了の時期を迎え、長崎県産中心の入荷でした。天候に恵まれ大玉傾向(Lサイズ中心)の入荷でしたが、入荷はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	353	131	90%	108%
6	果実	甘夏	熊本県産・鹿児島県産中心の入荷でした。両県産とも表年のため、入荷は大幅に増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	101	184	171%	93%
7		ふじ	前進出荷により入荷は増加しました。サンふじの品質低下もあり、平均単価はかなり安く推移しました。	360	266	114%	76%
8		いちご	全体的に順調な入荷により、入荷は増加しました。平均単価は前年並みで推移しました。	207	1,104	112%	99%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上